

スタッフ自らが考え動く！

スタッフの『やる気』を引き出した経営者の変化とは？



最初はお一人でネイルサロンを経営していた小林さん。しかし、スタッフを抱えるようになってから自分の思い通りにならないことにストレスを抱えていました。「人の粗（あら）ばかり探してしまう自分」に気づいてしまい、その自分をどうやったら変えられるのか？が分からなかったといいます。

それが中城のコーチングを受けることで、自分の心の中に余裕ができ、人のことを第一に考えられるようになったとのこと。その結果、スタッフが自ら考えて仕事をするようになってきたのだとか。それも、無意識のうちに変わっていたのだそうです。その秘密を小林さんに伺いました。

▼最初はスタッフを責めていた。

ーコーチングを受ける前はどんな感じだったんですか？

一人で働いている時は、自分の思い通りになるから楽じゃないですか。一人で働いている期間が1年半ぐらい続いていたので、初めてスタッフを雇ったときに拒絶反応が起きたんですね。スタッフを受け入れられない自分がいたんですよ。「なんで私が考えている通りにできないの？」「私の言うことさえ聞いていれば、それでいい。私の言うことさえ聞いていれば、うまくいく。」っていう思いがでてきたんですね。例えば、以前の私だったら、スタッフが空き瓶を置きっぱなしにした時に「なにやってんの！？なんで片付けしないの？なんでここに置いたの？」って責めてたんです。周りの人間は全て敵だと、攻撃されると思ってました。

ーどうしてコーチングを受けようと思ったんですか？

そんな自分を変えたくて、いろいろなセミナーに参加したんですけど、対処方法が分からないまま自分の嫌なところだけが顕在化してしまって、どうしていいか分からないっていう、痛みが露出している状態だったんですよ。だから、チャーリー（注：中城のニックネーム）さんに出合った時、特に「これで悩んでいる」というのはなくて、「この痛みどうにかして」というそういう状況だったと思います。

ーコーチングを依頼するのに躊躇はありませんでしたか？

やはり自分の心の中をさらけ出すこと。そこに一番、壁をもっていたので。にもかかわらず、あえてそこに飛び込んでいかなきゃいけないということが辛かったです。

ー他のコーチに頼もうとは思わなかったのですか？ 決め手となったのは何ですか？

チャーリーさんのコーチングで「いろんな方が変わった」という実績を聞いていたのと、公開コーチングでSさんが目の前でタバコを吸わなくなったのを見て・・・斜に構えていた私でも、チャーリーさんにだったらお願いしたい、と思いました。



チャーリーさんにだったらお願いしたいと思いました。

決め手はもちろん自分が変わりたいって思ったことが一番ですが、チャーリーさんのコーチングを受けて変わった人を見て楽しそうにされていること、そしてチャーリーさん自信が「何でもこい」という雰囲気を出していること、そこもやはり魅力でした。

▼人との関わり方が180度変わった。

ー3ヶ月間のコーチングが終わってどうでしたか？

180度変わりました。コーチングが終わった直後は、「どう変わったか？」というのは正直なところ分からなかったんですよ。もちろんすごく清々しい気持ちにはなるんですけど、何が変わったのか？という実感はなかったです。でも、日が経つにつれて人に対しての関わり方がすごく変わっていることに気づきました。あんなに人に対してベルリンの壁のような分厚い壁を作っていた私が、人嫌いオーラが出ていた私だったのに、人のことで泣けるんですよ。昔の私だったら信じられないです。いつの間にか変わっていたんです。「人のため、人のため」って自然に思えるようになっていました。

ーコーチングを受けて一番変化したこと、一番よかったことってなんでしたか？

「怒り」を感じるためのハードルが高くなりましたし、「楽しい」を感じるためのハードルが下がりました。

例えば、先日あるセミナーに呼ばれて講師をしたんですが、本来なら「◇◇セミナー ○○先生」って表示されるべきところに、「小林文子セミナー □□（講演のタイトル）先生」って書いてあったんですよ。以前の私だったら、怒りのハードルがすごく低いので「はあ？ちょっとひどくない？」って怒ってたと思うんですよ。でも、それがすごく面白くてfacebookに載せてしまいました（笑）これは、「あ、これは怒っちゃいけないから、笑わなきゃ」って考えてそうしたのではなく、本当に笑えたから、本当に変わったんだなって実感しました。



怒りのハードルが高くなって、怒りにくなりました。

ースタッフさんからの評価は変わりましたか？

はい。あるスタッフからなんですが・・・「先生（小林さん）が好きだから、キツい言い方をされても、怒られても、悲しい気持ちになっても、信頼感と尊敬心が勝って、負の連鎖に陥ることがありません。大人になると、気持ち一つで人生の選択肢をうまい方向に導けるものだと感じました。」とメールをもらったんです。いままででしたら考えられません。

そのメールをくれたスタッフとは別のスタッフの話なのですが、私が朝、お店を不在にしていた日のこと。私がお店に戻ってくると、あるスタッフがお客様の施術を終えて会計をしていたので、私が彼女のテーブルを片付けをしていたんですね。その時、彼女のテーブルに付箋が貼ってあるのを見つけたんです。その付箋には「〇〇さん（お客様の名前） 〇〇を勧める。 △△さん □〇△※の話をする。前回買った**のことを聞く」って書いてあったんです。この付箋に書いてあった内容というのは、私がいつも朝スタッフに言っていたことなんです。で、朝、私がいなくてもそれを付箋に書いて貼ってあったから、すごく感動して嬉しかった！「わあー、成長したなあ」って。元々いい子ではあるんですけど、意見を求めても言えない子だったんですよ。私がすごく彼女と向き合ったので、その結果なのかな？って思うと嬉しいです。

私がこの間、体調崩したときも「今日、体調どうですか？」ってメールをくれたり、「先生が頑張っているから、私は倒れる訳にいかないから頑張る」って言ってくれたりとかしてくれました。最初はそんな子じゃなかったんですよ。

ー小林さんは最初、ちょっと怖かったんですが（笑）笑顔が変わりましたね。見た感じも違う人みたいです。

顔つきが変わったって言われるんですよ。自分でも自分の変化にびっくりしています。お金を積まれても元に戻りたくないと思う。本当にそう思います。

ー今後、どうしていきたいとかありますか？

私と関わってくれる人を笑顔にしたい、って思います。私の人に対する想いが広がっていったらいいなって、思います。

ー今日は良いお話を聞く事ができて良かったです。ありがとうございました。

私も、いままでのことを振り返ることができて良かったです。ありがとうございました。